

7. じんま疹、虫さされ、 急に出現する発疹(皮膚のぶつぶつ)

◆こんな症状が一つでもあれば、
迷わず救急車を呼んでください

緊急度1

全身の赤い斑状の皮膚(じんま疹)に伴って

1. 不穏状態、ぐったりしている
2. まぶたのむくみ、顔面や頸部の腫脹
3. 息苦しい、声が出ない、咳が止まらない

◆上記の症状がない場合

1) 次のような症状が一つでもあれば

緊急度2

早めに休日夜間急病センターを受診してください

1. 痒みを伴って、盛り上がった赤いリング状の皮膚⇒じんま疹を疑う
2. 暗い紫色の小さな点々(紫斑)の出現に腹痛・関節痛を伴う⇒血管性紫斑病を疑う
3. 高熱が続き、頸部リンパ節の腫脹や不定形の発疹が出現⇒川崎病を疑う



2) 左記の症状がない場合

緊急度3

とりえず自宅様子を見て、かかりつけ医の診療開始時間まで待つ

※ウイルス(突発性発疹、麻疹、風疹、水痘、リンゴ病など)や細菌(溶連菌)による発疹は、水分がとれ機嫌もよければ、緊急度3です。



一口メモ

救急車を呼んでください!

「アナフィラキシーショック」

- アナフィラキシーは、薬剤(注射)、昆虫(ハチなど)による刺傷や特定の食物の摂取などによる重篤な全身のアレルギー反応です。
- ふつうは数分以内に、全身発赤・じんま疹が出現し、重篤な場合は意識低下などのショック症状を呈し、呼吸困難を起こします。